

よ し だ し ゅ う い ち
吉 田 修 一



* 昭和43年9月14日 長崎市生まれ

写真:WEB本の雑誌より転載

○ 略 歴

大学卒業後、アルバイト生活を送りながら、24歳から小説を書き始める。

- 平成9年 「最後の息子」で第84回文学界新人賞を受賞し、作家デビュー
(29歳) 同作が第117回芥川賞候補となる
- 平成14年 「パレード」で第15回山本周五郎賞を受賞
(34歳) 「パーク・ライフ」で第127回芥川賞を受賞
- 平成18年 朝日新聞に「悪人」連載
(38歳) 「7月24日通り」映画化(タイトル「7月24日通りのクリスマス」)
- 平成19年 「悪人」で第61回毎日出版文化賞と第34回大佛次郎賞を受賞
(39歳)
- 平成21年 「ひなた」「悪人」が第2回ポラナビ著作翻訳賞受賞作品となる
(41歳)
- 平成22年 「悪人」映画化
(42歳) 「横道世之介」で第23回柴田錬三郎賞受賞
- 平成25年 「さよなら溪谷」、「横道世之介」が相次いで映画化
(45歳)
- 平成28年 「怒り」が映画化
(48歳) 下期より芥川賞選考委員となる

○ 主な受賞歴

- | | | |
|-------|--------------------------|---------------------|
| 平成9年 | 第84回文学界新人賞 | 「最後の息子」 |
| 平成14年 | 第15回山本周五郎賞
第127回芥川賞 | 「パレード」
「パーク・ライフ」 |
| 平成19年 | 第61回毎日出版文化賞
第34回大佛次郎賞 | 「悪人」
「悪人」 |
| 平成21年 | 第2回ポラナビ著作翻訳賞 | 「ひなた」「悪人」 |
| 平成22年 | 第23回柴田錬三郎賞 | 「横道世之介」 |

○ その他の代表作

熱帯魚(平13)、日曜日たち(平15)、東京湾景(平15)、長崎乱楽坂(平16)
女たちは二度遊ぶ(平18)、初恋温泉(平18)、元職員(平20)

太陽は動かない（平24）、路（ルウ）（平24）、愛に乱暴（平25）